

心得ておきましょう！台風襲来時の注意点



南大隅町浜尻地区 大規模な土石流で、全壊4戸（7月11日）

写真：読売新聞社提供

台風襲来時の注意点

【避難は明るいうちに】
避難は、明るいうちに、早めにしてください。暗くなつてからは、物につまづいて転倒するなど、

非常に危険です。
【外出・見回りは台風通過後に】
台風が通過するまでは、外出しないでください。物が飛んできたり、突風により転倒したり、倒木や

切断された電線があつたりして、非常に危険です。また、屋根や家の周辺を点検したり水田・畑などの見回りは禁物です。台風が通過してから行ってください。今回も県内では、飛んで

きた看板だけがをしたり、突風にあおられ転倒し骨折したり、川の濁流にのみ込まれたり、ひざ下ほどの側溝に流されるなどの人的被害が発生しました。いったん風が収まっても吹き返しの風に注意してください。また、洪水や土砂災害の心配のない地域でも、むやみに外出することは避けてください。

増水した濁流の流れが速く、非常に危険ですので、見に行ったり、近づかないでください。災害への心得と日ごろの備え、早めの避難を心がけましょう。そして何よりも、皆さんの大切な人の命を守るために、早期避難の呼びかけをしましょう。

【問い合わせ】

市自治防災課

0994 31 1124

日ごろの備えと早めの避難をお願いします！



鹿屋市自治防災課
危機管理監 斉野 義治

人命が第一です。尊い命だからこそ災害から自らを守り、大切な人の命も守らなければなりません。「わたしに限っては大丈夫！」という考えは危険です。災害はいつどこでおるか分かりません。常日ごろから災害への心がまえと災害への備えが大事です。そして、何より早めの避難が命を守ってくれます。少しでも危険を感じたら早く避難してください。そして、避難の呼びかけを行ってください。

鹿屋市防災マップをご活用ください。

子育て支援施設を ご利用ください

児童センターは、地域の子どもの健全な遊び場として、自主的な活動やセンターで計画する行事への参加などを通して心身が豊かで健康的な子どもを育成する児童厚生施設です。

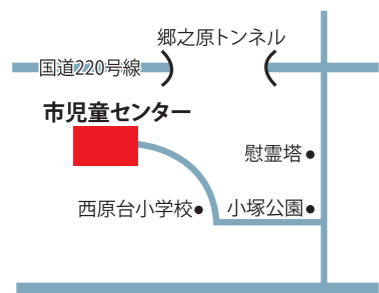
鹿屋市
児童センター
ナイト

施設内容＝遊戯室、図書室、集会室、テニスコート、バスケットコート、運動場

活動内容＝紙芝居、ぬり絵、映画会、子育て相談や、跳び箱、トランポリンを使った体力増進指導など

利用対象者＝18歳までの子どもとその保護者は、誰でも自由に利用できます。ただし、就学前のお子さんは保護者の付き添いが必要です。
利用料＝無料

活動している母親クラブ
あじさいクラブ
(第3土曜日)
さくらんぼクラブ
(第1・3水曜日)



【問い合わせ】

今坂町124406
(西原台小学校裏)
0994 449825

わかば
児童館

児童館は、児童に健全な遊びの場を提供し、様々な活動を通して児童の健全な育成や健康増進を図り、児童の健やかな成長を手助けする児童厚生施設です。

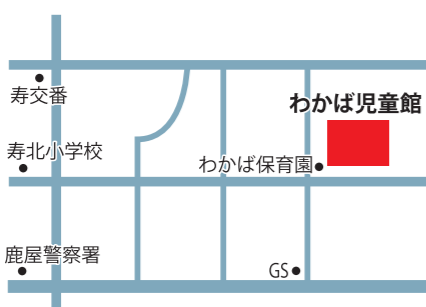


活動している母親クラブ
母と子の楽楽クラブ
(月～土曜日)

休館日＝日曜日、祝日、年末年始

開館時間＝8時～18時
活動内容＝手づくりのおもちや・ハガキ・カードなどの製作、離乳食教室、クッキング、リズム遊び、身体測定など

利用対象者＝18歳までの子どもとその保護者は、誰でも自由に利用できます。ただし、就学前のお子さんは保護者の付き添いが必要です。



【問い合わせ】

寿4丁目8 14
(わかば保育園に併設)
0994 445234